

## 看護部

### ■ スタッフ

部長	氏名	門脇 文子
副部長	氏名	江藤 由美（教育） 森 多佳美（総務） 小野 幸子（業務）
看護職員数	常勤	418名
	非常勤	108名
	非常勤看護助手	68名
		（H24年3月現在）

### ■ 部門の特色

「安全と満足を保障する質の高い看護を提供する」

当院は三重県下唯一の特定機能病院として高度先進医療に貢献すること、さらに臨床研究・人材育成という使命があります。その使命を果たすために看護部は、患者・家族に対して安全と満足を提供する質の高い看護を提供することを基本理念としています。私たちは、充実した教育体制のもと、専門職として倫理的視点を持ち、自己教育力を備えた看護師を育成したいと考えております。そして、看護職員一人ひとりが認められ、評価される働きがいのある職場作りを目指します。

#### 1. 看護部基本方針

- 1) 高度先進医療を担う病院として、安全で質の高い看護を提供する
- 2) 患者一人ひとりの自律性を尊重し、満足できる看護を提供する
- 3) 自律した看護職として他職種と協働し、効果的なチーム医療を推進する
- 4) 地域との連携・交流を深め、継続した看護を提供する
- 5) 看護職員のキャリア発達を支援し、働きがいのある職場風土を醸成する

#### 2. 看護部活動方針

- 1) 看護の実践力を高め、チーム医療を充実させる
- 2) 卒前卒後の継続教育を充実する
- 3) 離職防止・人材確保を推進して職員増員を実現し、働き続けられる職場環境を目指す

### ■ 活動内容

活動方針に基づいて 1) については ・看護職員の知識技術向上の機会を自発的に捉え、実践すること ・看護業務の改善、標準化を推進すること ・病院経営に貢献すること 2) については ・臨地実習、他施設研修の受け入れを拡充し、教育、指導に積極的に関わること ・看護学科、看護学校の教員と良好な関係を築き連携強化をはかること ・卒後教育のプログラム評価を行うこと 3) については ・看護職員のメンタルサポート体制を整えること ・人材確保のため、募集広報活動に積極的に参画すること ・雇用時間、配置人数を評価し、効率的な人材活用を推進すること など看護部としての活動を行いました。

### ■ 活動体制

看護部の組織として、看護部長（1名） 副看護部長（3名） 専門・認定看護師（12名）病棟部門師長（12名） 外来・中央部門師長（5名）看護の質管理部門師長（6名） また各病棟、外来・中央部門等副師長（48名）で管理業務等を行い、それぞれの部門、部署の看護スタッフと共に看護ケアの提供を行っています。師長・副師長は看護部諮問委員会に所属し活動を行っています。（表1）

### ■ 活動実績

看護要員の確保について、募集・広報活動として県内外への学校訪問や、就職説明会の開催、またインターンシップによって看護体験を行い、当院への関心を高めてもらうという企画なども行っています。確保状況については、表2参照。また、看護部教育活動として、クリニカルラダー院内認定、静脈注射などの研修を行い、それぞれ認定者、合格者が誕生しました。（表3）看護外来では、フットケア外来、リンパ浮腫外来、ストマ外来、自己導尿指導などを認定看護師らが担当し、成果を上げています。（表4）

【表1】

委員会	業務内容・H24年度 活動方針
人材育成委員会	看護職員の教育企画運営 1 クリニカルラダー認定手続き 2 看護職員研修の評価
静脈注射委員会	静脈注射に関すること 1 静脈注射に関する教育研修・評価 2 静脈注射の運用整備
看護記録委員会	看護記録に関すること 1 看護記録の教育と整備について 2 看護記録の監査について
医療情報委員会	看護情報システムの運用に関すること 1 医療情報システムの運用・評価 2 クリニカルパスの運用整備 3 部署の看護情報リンクナースの教育
看護業務委員会	看護業務に関すること 1 クラークの業務評価と運用 2 看護助手業務の標準化 3 接遇教育 4 ユニフォームに関すること
看護必要度委員会	看護必要度に関すること 1 看護必要度の教育 2 看護必要度の評価
災害対策委員会	災害対策に関すること 1 地震・火災等の災害時対策の検討と実施 1) 看護職員の災害・防災管理研修の運営 2) 各部署災害時対策の検討 3) 院内防災訓練への検討 2 DMATや救護班等の検討
人材確保委員会	看護職員の雇用・離職防止対策に関すること 1 看護師・助産師の雇用促進 2 離職職員の原因分析と対策 3 看護職員満足度調査を行う
看護体制委員会	看護体制に関すること 1 看護体制についての検討

【表2】

看護要員確保状況

年度	現在数	新採用	助手	離職率
24年度	526	53	68	9.8%
23年度	501	58	66	11.2%

【表3】

	数
クリニカルラダーレベルⅠ認定者数	43
クリニカルラダーレベルⅡ認定者数	5
クリニカルラダーレベルⅢ認定者数	5
皮膚排泄ケア 初級認定者	21
皮膚排泄ケア 中級認定者	10
糖尿病看護 初級認定者	10
糖尿病看護 中級認定者	10
静脈注射認定クラス3薬剤ランク2a合格者	73
静脈注射認定クラス3薬剤ランク2b合格者	115
静脈注射認定クラス3薬剤ランク2c合格者	73
静脈注射認定クラス3薬剤ランク2d合格者	83

【表4】

看護外来患者数

外来種別	件数
フットケア	227
リンパ浮腫	1109
ストマ	916
自己導尿	114

## ■ 今後の展望

7対1看護体制を維持していくために、病院全体で、看護職員の募集・広報活動を推進していくことが必要と考えます。ひとりでも多くの仲間を増やし、そして働き続けられる職場環境を提供する対策を積極的に取り入れて行くことを今後の課題としていきたいと思えます。

<http://www.hosp.mie-u.ac.jp/> (ホームページ)